

2018年3月15日

～特急券自動発売機に新サービスを追加～

クレジットカード、交通系ICカードが使えるようになります

近鉄では、2018年3月20日（火）から、ホームなどに設置している特急券自動発売機で、新たにクレジットカードや交通系ICカードで特急券を購入できるようになります。

これにより、増加する訪日外国人を含め、クレジットカードや交通系ICカードでのお支払いを希望されるお客さまなどに、より便利に特急券をご購入いただけたと考えています。

詳細は次のとおりです。

1. 特急券自動発売機での新サービス

(1) クレジットカードが使えます。

VISA、Mastercard、JCBのクレジットカードがご利用可能となります。

(2) 交通系ICカードが使えます。

- PiTaPa（※1）、ICOCA、Kitaca、PASMO、Suica、manaca、TOICA、はやかけん、nimoca、SUGOCAの全国相互利用サービス対象の交通系ICカード（※2）がご利用可能となります。
- 交通系ICカードへの現金チャージができます。

(3) 近鉄グループカード KIPS のポイントがたまります。

近鉄グループカード KIPS（KIPS ICOCA、KIPS PiTaPa、KIPS クレジットカード）での購入により KIPS ポイントが付与されます。

(4) 4カ国語でご案内します。

- 訪日外国人の方がご利用しやすいよう、日本語、英語に加え、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）で表示してご案内します。



ご利用可能なクレジットカードのブランドマーク



ご利用可能な交通系ICカード
（全国相互利用サービス対象のカード）



特急券自動発売機

ご利用イメージ

2. サービス開始日

2018年3月20日（火）

3. 特急券自動発売機の設置駅

計28駅54台

大阪難波駅、大阪上本町駅、大和高田駅、大和八木駅、榛原駅、名張駅、生駒駅、学園前駅、大和西大寺駅、近鉄奈良駅、京都駅、近鉄丹波橋駅、高の原駅、大阪阿部野橋駅、古市駅、尺土駅、高田市駅、橿原神宮前駅、吉野口駅、下市口駅、近鉄名古屋駅、桑名駅、近鉄四日市駅、白子駅、津駅、伊勢中川駅、松阪駅、伊勢市駅

※1：PiTaPaはプリペイドでのご利用となります。（ポストペイではご購入いただけません。）
また、特急券の購入金額はPiTaPa交通割引サービス（利用額割引・区間指定割引）の対象外となります。

※2：全国相互利用サービス対象の交通系ICカードの商標について

- ・「Kitaca」は、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。
- ・「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「manaca」「マナカ」は、株式会社名古屋交通開発機構および株式会社エムアイシーの登録商標です。
- ・「TOICA」は、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「PiTaPa」は、株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- ・「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「はやかけん」は、福岡市交通局の登録商標です。
- ・「nimoca」は、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「SUGOCA」は、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。

（以上）

参考

1. 決済手段拡大に関する主な取り組み

- 1984年12月～ : 駅営業所でのクレジットカード利用開始
- 1990年11月～ : 定期券発売におけるKIPSクレジットカード利用開始
- 2001年 3月～ : インターネット特急券予約発売サービスでのクレジットカード利用開始
- 2016年 1月～ : 駅営業所での銀聯カード利用開始
- 2016年 2月～ : 自動券売機における乗車券など購入時の交通系ICカード利用開始
- 2016年 3月～ : 駅窓口における特急券など購入のクレジットカード利用開始
- 2018年 3月～ (本件) : 特急券自動券売機でのクレジットカードおよび交通系ICカード利用開始

2. 多言語対応に関する最近の主な取り組み

- 2015年 8月～ : 主要駅での案内標類の多言語表記拡充
- 2015年 9月～ : 主要駅での英語による自動放送の実施
- 2015年11月～ : 主要駅での行先表示器における英語表記対応
- 2016年 3月～ : 車内での多言語放送の実施
- 2016年 8月～ : 新型自動券売機での多言語表記対応
- 2016年11月～ : 訪日外国人向け特急券発売サイトの開設
- 2018年 3月～ (本件) : 特急券自動券売機での多言語表記の開始

(以上)